新しいタイプのペーパーを追加したい(35型シリーズ)

今まで使っていたペーパータイプと異なる新しいタイプのペーパーを使用するときの登録手順を説明します。
使用するペーパータイプは、最大3種類まで登録できます。

【重要】

登録するペーパータイプで使用する最大幅のペーパーは、面質がグロッシーでなければなりません。
それは、iBeam機の場合、「iBeamチューニング」というセットアップを行いますがグロッシー以外のペーパーでは、プリント表面の凹凸により、iBeamチューニングが正常に行なえない可能性があるためです。

画面の表示方法

「オーダー画面」で「F」ボタンをクリック → ”メニュー” → ”拡張メニュー” → ”セットアップ” → ”iBeam(レーザー)セットアップ” → ”ペーパー仕様登録・セットアップ”

1.ペーパー(マガジン)の登録

1.1 新しいペーパータイプとセットアップに使用するマガジンを登録します。

ポイント
ここで登録するマガジンは、普段のデイリーセットアップのときに使用します。

(1) これから新たに使用するペーパーのペーパータイプを選択します。
最大3種類まで登録できます。

例:「ペーパー仕様登録・セットアップ」画面 (2種類目のペーパータイプを登録する場合)

【重要】

新しいペーパーのペーパータイプが存在しないときは、
コールセンターに問い合わせてください。

(2) セットアップで使用するマガジンを選択します。
選択欄の番号はペーパータイプの番号に対応しています。

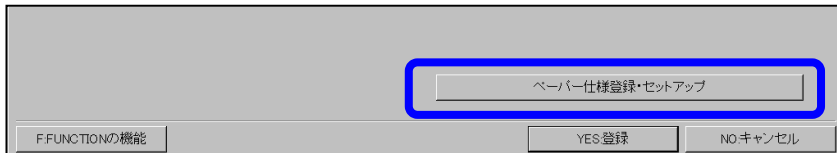
(3)「YES：登録」ボタンをクリックします。
確認の画面が表示されます。

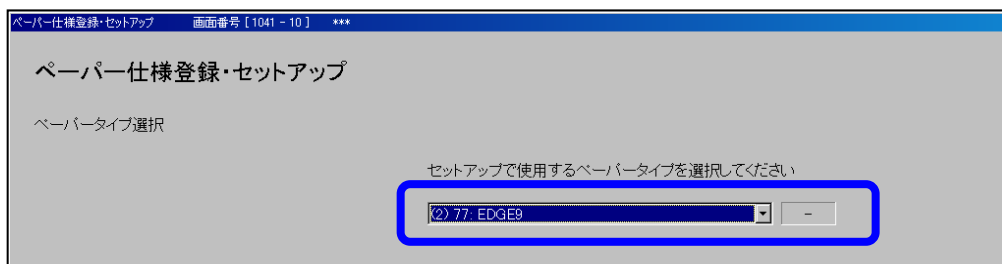
(4)「YES：はい」ボタンをクリックします。
これで新しいペーパータイプとセットアップに使用するマガジンが登録されました。

1.2 登録したペーパーが使用できるようにセットアップをします。

(1) セットアップするペーパーをマガジンにセットし、プリンターに取り付けます。

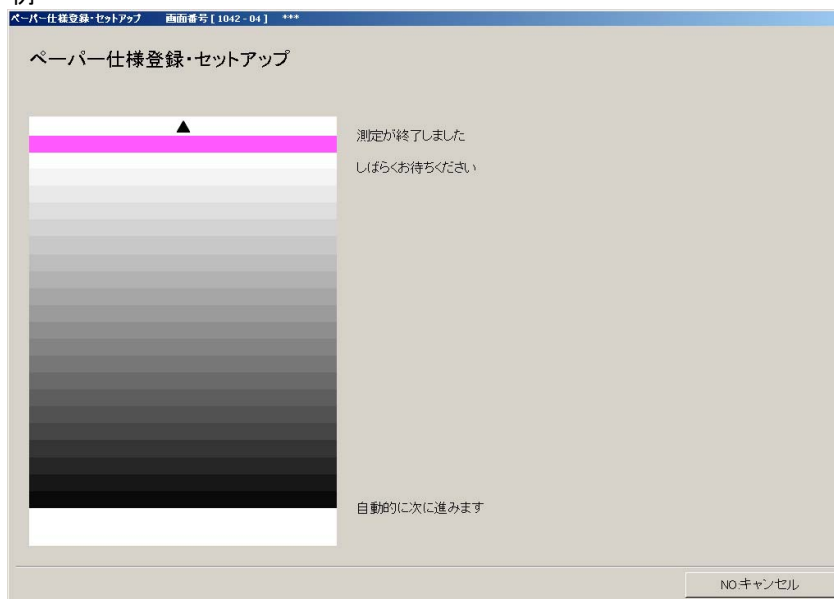
(2)「ペーパー仕様登録・セットアップ」ボタンをクリックします。

例：「ペーパー仕様登録・セットアップ」画面

(3) セットアップを行なうペーパータイプを選択します。

例：「ペーパー仕様登録・セットアップ」画面

(4)「YES：>次へ」ボタンをクリックします。
システム露光量の設定がはじまります。

2.システム露光量の設定

テストプリントの作成と測色計の校正が自動的に行なわれます。
自動的にテストプリントの測定がはじまります。

例

測定結果が表示されます。

例

(1)「YES：登録」ボタンをクリックします。
補正値が登録され、ペーパーガンマセットアップがはじまります。

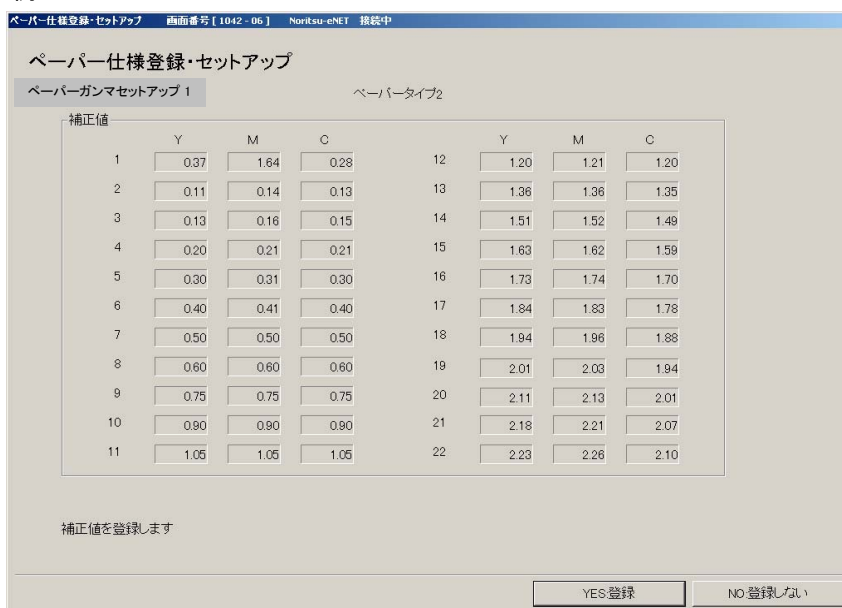
3.ペーパーガンマセットアップ

ペーパーガンマセットアップ1のテストプリントが作成されます。
自動的にテストプリントの測定がはじまります。

例

測定結果が表示されます。

例

	Y	M	C		Y	M	C
1	0.37	1.64	0.28	12	1.20	1.21	1.20
2	0.11	0.14	0.13	13	1.36	1.36	1.35
3	0.13	0.16	0.15	14	1.51	1.52	1.49
4	0.20	0.21	0.21	15	1.63	1.62	1.59
5	0.30	0.31	0.30	16	1.73	1.74	1.70
6	0.40	0.41	0.40	17	1.84	1.83	1.78
7	0.50	0.50	0.50	18	1.94	1.96	1.88
8	0.60	0.60	0.60	19	2.01	2.03	1.94
9	0.75	0.75	0.75	20	2.11	2.13	2.01
10	0.90	0.90	0.90	21	2.18	2.21	2.07
11	1.05	1.05	1.05	22	2.23	2.26	2.10

(1)「YES:登録」ボタンをクリックします。

<u>レーザー機の場合</u>
手順11のブラックバランス調整へ進みます。

<u>iBeam機の場合</u>
補正値が登録され、マガジン登録・セットアップを行なう画面が表示されます。

<測定結果が許容範囲外の場合>
「測定結果が許容範囲外です　再度プリントを行ないます」が表示されます。
測定結果が許容範囲外のときは、「YES:実行」ボタンをクリックして、再度テストプリントを作成してください。(最大3回まで)

4.最大ペーパー幅のマガジン登録

4.1 使用したいペーパータイプの最大ペーパー幅を登録します。

ポイント1

この後に、「iBeamチューニング」というセットアップ作業を行ないます。
「iBeamチューニング」は、ペーパータイプの最大ペーパー幅で行なう必要があります。
そのため、まずここでは使用したいペーパーサイズの最大ペーパー幅の登録を行ないます。

ポイント2

ここまでのセットアップ作業で使用してきたペーパーの幅(この例では127mm)が
使用する最大ペーパー幅であれば、この後の手順(1)以降の作業は不要です。
「マガジン登録・セットアップ」ボタンを押して、手順5の”マガジン登録セットアップで使用する
ペーパー幅を選択”へ進んでください。

(1) 使用したい最大ペーパー幅と面質の一覧にペーパータイプを設定します。
ここでは、使用したい最大ペーパー幅が203mmの場合で説明します。

例:マガジン登録・セットアップを行なう画面

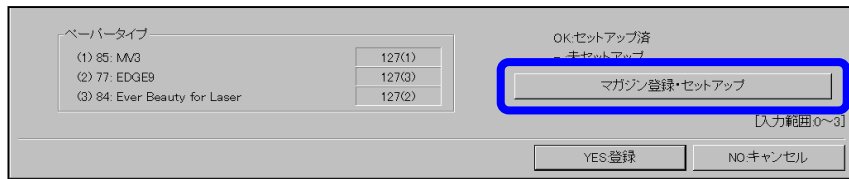
設定するペーパータイプの「2」とは、ここで表示されている数字に対応しています。

(2) 「YES:登録」ボタンをクリックします。

マガジン登録できました。

4.2 セットアップを行ないます。

(1) 手順4.1でマガジン登録したペーパーマガジンがセットされているか確認します。
セットされていない場合は、ペーパーマガジンをセットしてください。

(2) 「マガジン登録・セットアップ」ボタンをクリックします。

5.マガジン登録セットアップで使用するペーパー幅を選択

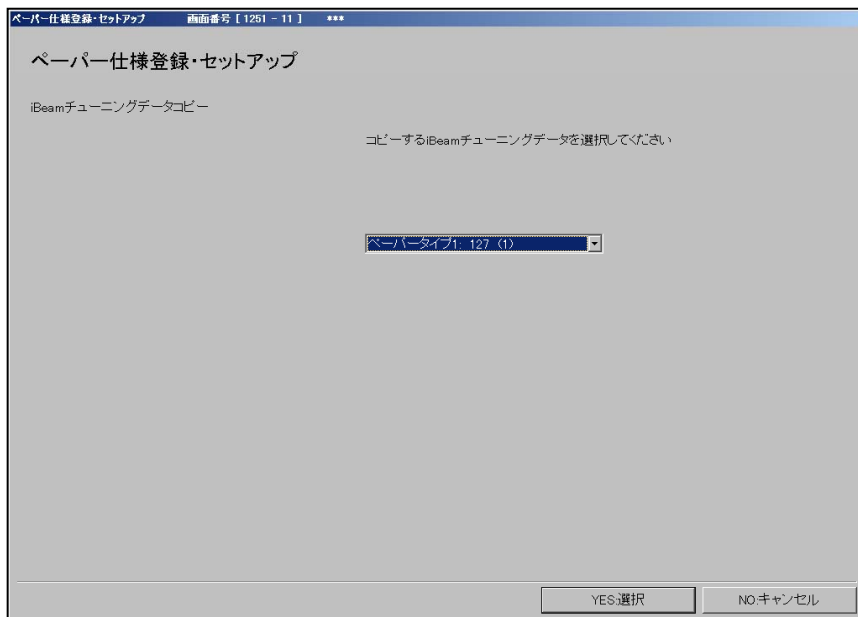
(1) セットアップするマガジンをクリックして選びます。
手順4.1で使用したいペーパータイプの最大ペーパー幅(この例では203mm)を登録した場合、
マガジン:203(3)、ペーパータイプ:2を選びます。
手順1-1.1-(2)で登録したペーパー幅が、使用したいペーパータイプの最大ペーパー幅
(この例では127mm)の場合、登録したマガジン:127(3)、ペーパータイプ:2を選びます。

例

(2) 「YES:>次へ」ボタンをクリックします。
「iBeamチューニングデーターコピー」画面が表示されます。

6.iBeamチューニングデータコピー

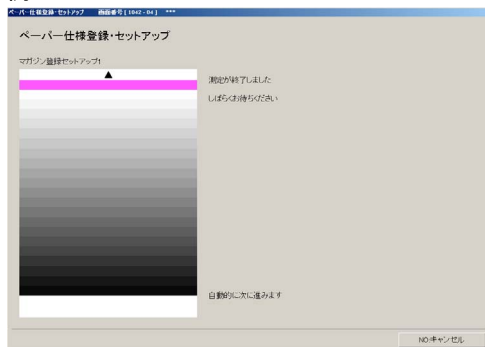
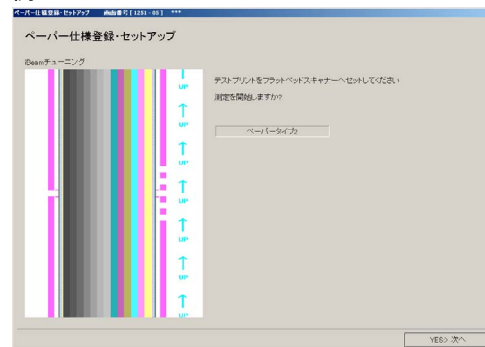
(1) 設定を変えずに、「YES:選択」ボタンをクリックしてください。

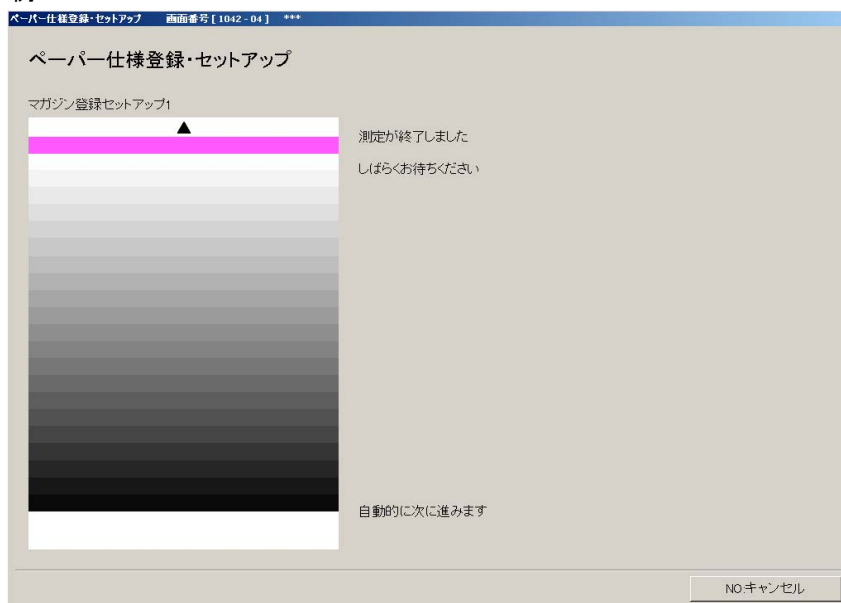
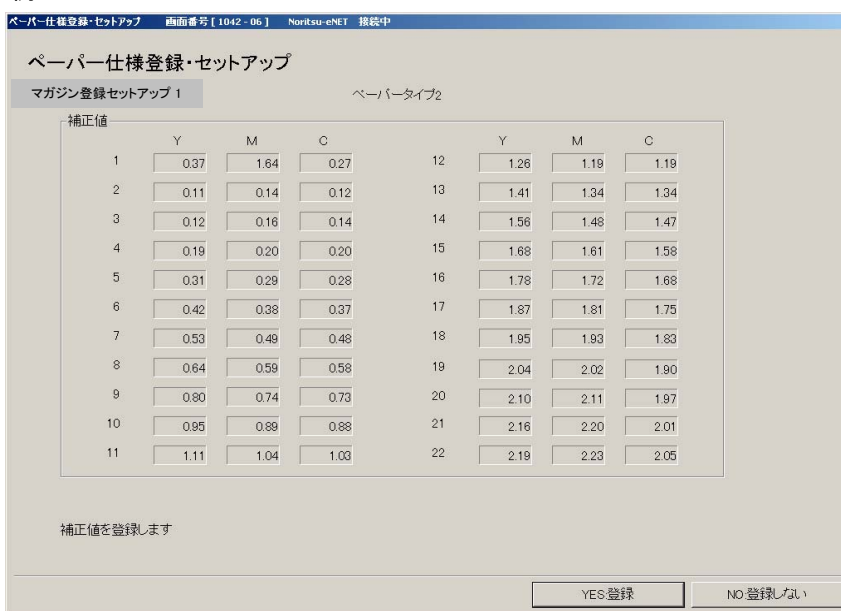
例

<u>最大ペーパー幅が203mmの場合</u>

手順4.1で使用したいペーパータイプの
最大ペーパー幅(この例では203mm)を
登録した場合、マガジン登録セットアップを
行ないます。
手順7へ進んでください。

<u>最大ペーパー幅が127mmの場合</u>

手順1-1.1-(2)で登録したペーパー幅が、
使用したいペーパータイプの最大ペーパー幅
(この例では127mm)の場合、iBeamチューニング
のテストプリントが作成されます。
手順8へ進んでください。

例

例

7.マガジン登録セットアップ

マガジン登録セットアップのテストプリントが作成されます。
自動的にテストプリントの測定がはじまります。

例

測定結果が表示されます。

例

	Y	M	C		Y	M	C
1	0.37	1.64	0.27	12	1.26	1.19	1.19
2	0.11	0.14	0.12	13	1.41	1.34	1.34
3	0.12	0.16	0.14	14	1.56	1.48	1.47
4	0.19	0.20	0.20	15	1.68	1.61	1.58
5	0.31	0.29	0.28	16	1.78	1.72	1.68
6	0.42	0.38	0.37	17	1.87	1.81	1.75
7	0.53	0.49	0.48	18	1.95	1.93	1.83
8	0.64	0.59	0.58	19	2.04	2.02	1.90
9	0.80	0.74	0.73	20	2.10	2.11	1.97
10	0.95	0.89	0.88	21	2.16	2.20	2.01
11	1.11	1.04	1.03	22	2.19	2.23	2.05

<測定結果が許容範囲外の場合>
「測定結果が許容範囲外です　再度プリントを行ないます」が表示されます。
測定結果が許容範囲外のときは、「YES:実行」ボタンをクリックして、再度テストプリントを作成してください。(最大3回まで)

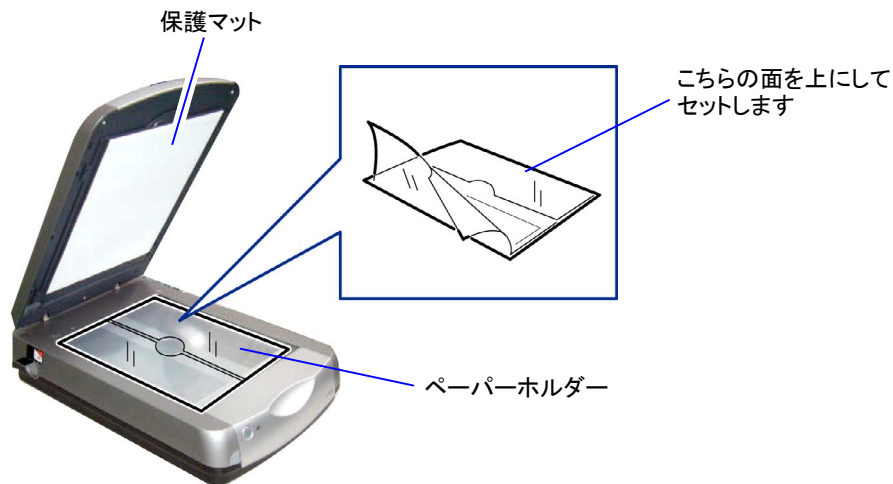
(1) [YES:登録」ボタンをクリックします。
補正値が登録され、次にiBeamチューニングのテストプリントが作成されます。

8.フラットベッドスキャナーの準備

(1) フラットベッドスキャナーに付属の「保護マット」が取り付けられていることを確認します。

【重要】

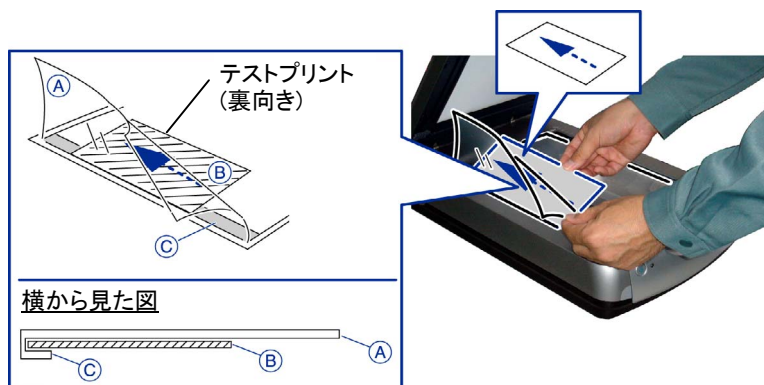
iBeamチューニングのテストプリントを測定するとき、フラットベッドスキャナーに付属の「保護マット」を取り付けてください。「保護マット」を取り付けないと、正常にiBeamチューニングを行なうことが出来ません。
保護マットの取り付け方法については、「フラットベッドスキャナーの取扱説明書」参照。

(2) ペーパーホルダーをフラットベッドスキャナーにセットします。
機種によっては、ペーパーホルダーがない場合があります。

(3) フラットベッドスキャナーにテストプリント(2枚)を裏向けにセットします。
テストプリントの矢印方向をフラットベッドスキャナーの奥側にしてセットします。

【重要】

・テストプリントは、フラットベッドスキャナーの取り込み範囲内にセットしてください。
・フラットベッドスキャナーの取り込み範囲については、フラットベッドスキャナーの取扱説明書参照。
・画面に表示されているペーパータイプと同じペーパータイプのプリントを使用してください。

テストプリントが重ならないようにしてください。

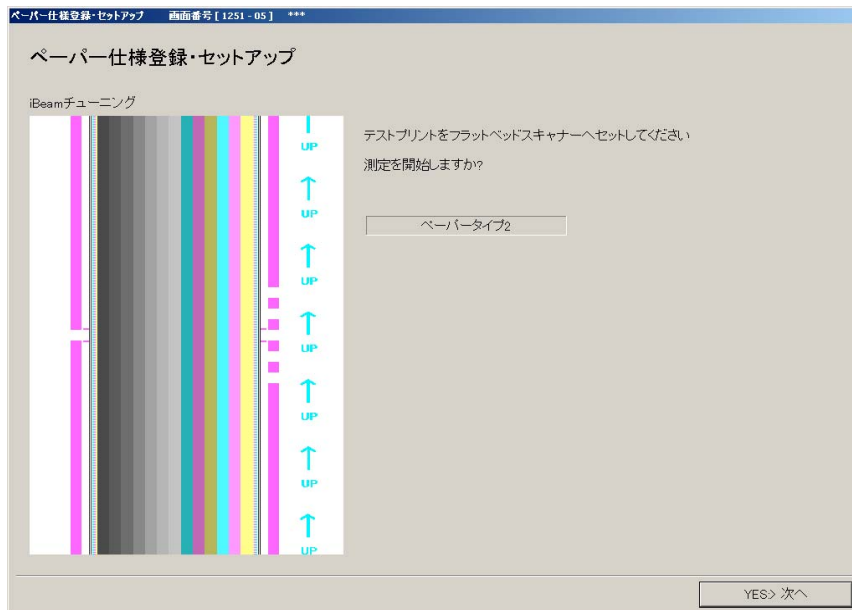
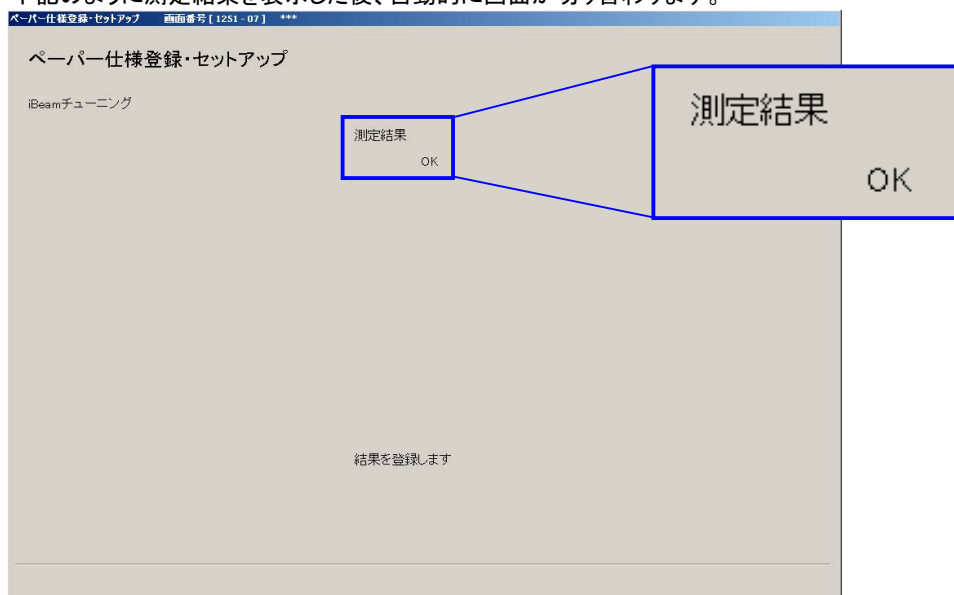
例:ペーパーホルダーを使用している場合

(4) ペーパーホルダーを使用している場合は、テストプリントがペーパーホルダーの端にくるように、
位置を整えます。

ペーパーホルダーが無い場合

2枚のテストプリントをフラットベッドスキャナーの取り込み範囲内で重ならないように平行に並べます。
テストプリントの向きは、ペーパーホルダーがある場合と同じです。

9.iBeamチューニング測定

(1)「YES:>次へ」ボタンをクリックします。
　テストプリントの測定がはじまり、自動的に測定結果を登録します。

例

下記のように測定結果を表示した後、自動的に画面が切り替わります。

<u>測定結果がOKの場合</u>

測定結果が登録され、ペーパーガンマセットアップ(再測定)がはじまります。

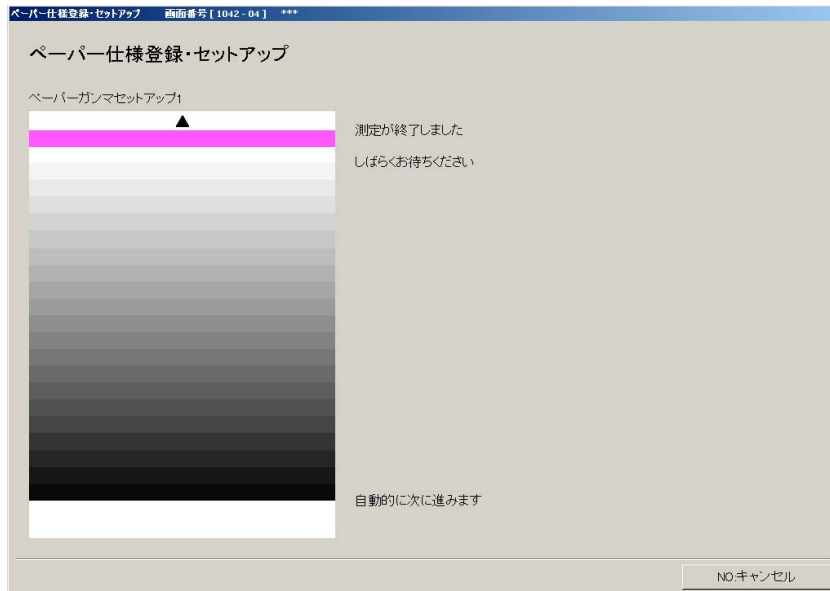
<u>測定結果がNGの場合</u>

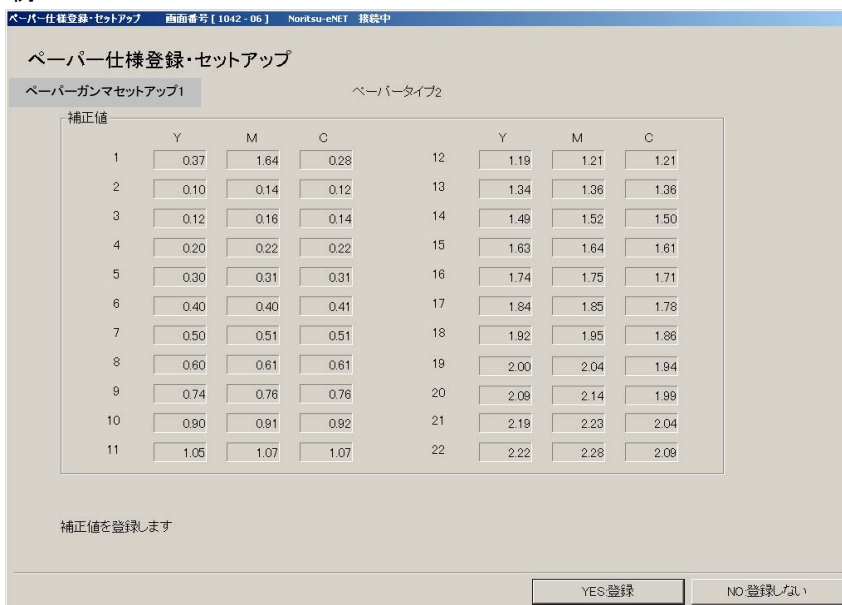
再度、テストプリントが作成されますので、測定をやり直してください。(最大3回まで)

10.ペーパーガンマセットアップ(再測定)

ここから後の作業は、手順1-1.1-(2)で登録したペーパー幅(この例では127mm)で行ないます。
最大ペーパー幅で行なう必要はありません。
手順1-1.1-(2)で登録したペーパー幅のマガジンがセットされていなければ、セットしてください。

(1)「YES:>次へ」ボタンをクリックします。
ペーパーガンマセットアップのテストプリントが作成されます。
自動的にテストプリントの測定がはじまります。

例

測定結果が表示されます。

例

(2)「YES:登録」ボタンをクリックします。
補正値が登録され、ブラックバランス調整がはじまります。

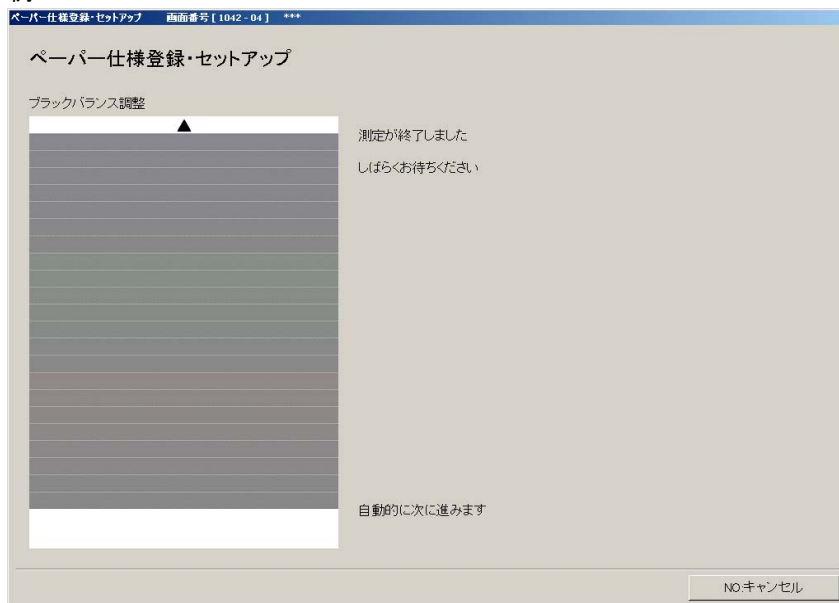
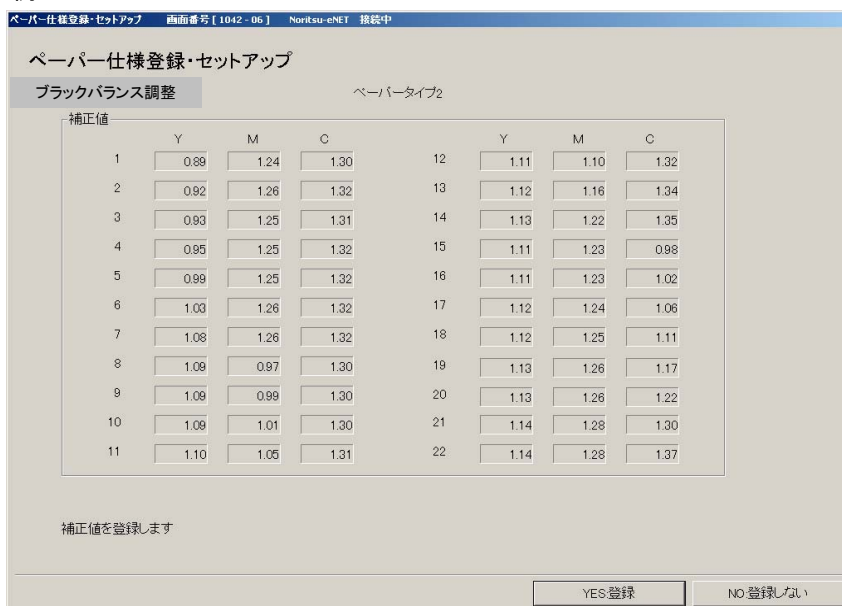
11.ブラックバランス調整

ブラックバランス調整のテストプリントが作成されます。
自動的にテストプリントの測定がはじまります。

例

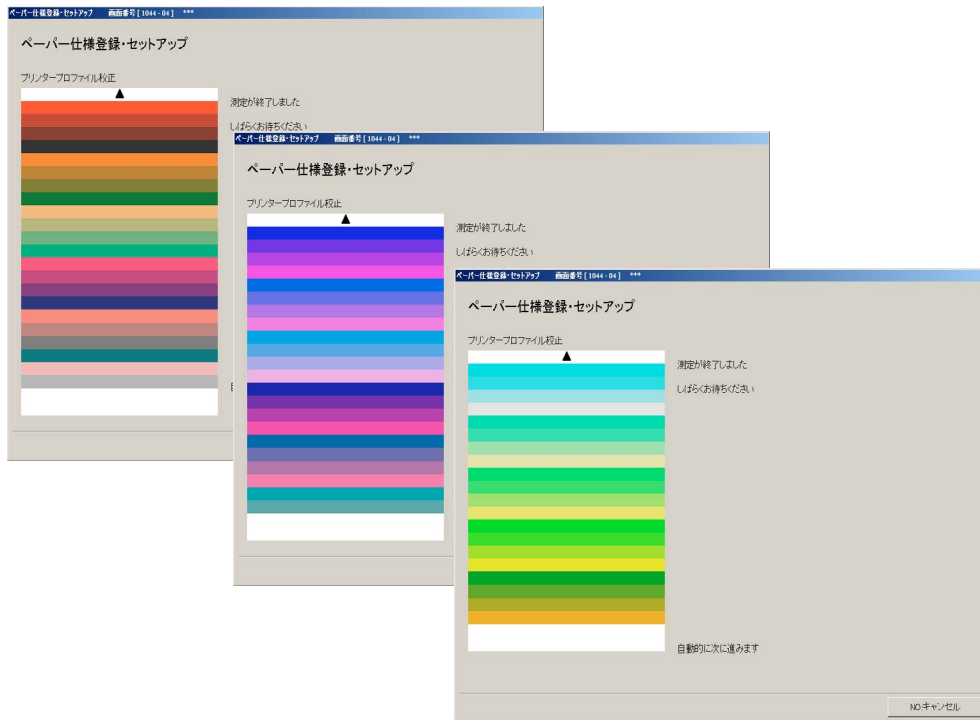
測定結果が表示されます。

例

	Y	M	C		Y	M	C
1	0.89	1.24	1.30	12	1.11	1.10	1.32
2	0.92	1.26	1.32	13	1.12	1.16	1.34
3	0.93	1.25	1.31	14	1.13	1.22	1.35
4	0.95	1.25	1.32	15	1.11	1.23	0.98
5	0.99	1.25	1.32	16	1.11	1.23	1.02
6	1.03	1.26	1.32	17	1.12	1.24	1.06
7	1.08	1.26	1.32	18	1.12	1.25	1.11
8	1.09	0.97	1.30	19	1.13	1.26	1.17
9	1.09	0.99	1.30	20	1.13	1.26	1.22
10	1.09	1.01	1.30	21	1.14	1.28	1.30
11	1.10	1.05	1.31	22	1.14	1.28	1.37

(1)「YES：登録」ボタンをクリックします。
　プリンタープロファイル校正がはじまります。

12.プリンタープロファイル校正

プリンタープロファイル校正のテストプリントが3枚作成されます。
自動的にテストプリントの測定がはじまります。

例

3枚目のテストプリント測定後、登録確認画面が表示されます。

(1)「YES:登録」ボタンをクリックします。
プロファイルが登録されます。
登録後、「プロファイルを更新しました」が表示されます。

(2)「YES：確認」ボタンをクリックします。
「ペーパー仕様登録・セットアップ」画面に戻ります。
複数のペーパータイプを設定する場合は、続けて次のペーパータイプを選択し、
セットアップを行います。

以上で終了です。